「WORK分析シートで前日比を扱うには?」

JP法研究会 富士栄

WORK分析シートは、テクニカル指標が登録されており、一見すると株価については 扱えない・・・。と思われがちですが、応用を利かせる事によりそれが出来ます。

例えば、前日比プラスの条件はどうやって入力すればいいのでしょうか?

また500円以下の銘柄を知りたい場合は?

今回はこの2点について解説します。

種を明かせば簡単な事で、移動平均線の項目を使います。

シートには、移動平均線①と移動平均線②が登録されており、何が違うのかというと、

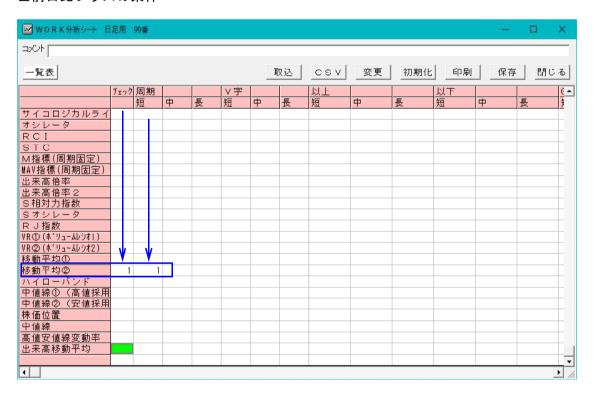
移動平均線①・・・権利落ち修正前の株価を採用

移動平均線②・・・権利落ち修正後の株価を採用

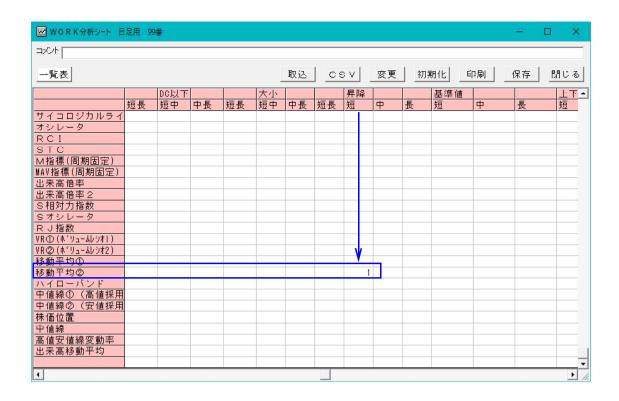
となっています。

通常は、権利落ち修正後の株価を使いますので、移動平均線②の項目を採用します。

■前日比プラスの条件



右へスクロールさせ、



このようにたった3カ所だけの入力で前日比プラスの条件となります。

チェックに「1」・・・このテクニカル指標はチェックするという意味

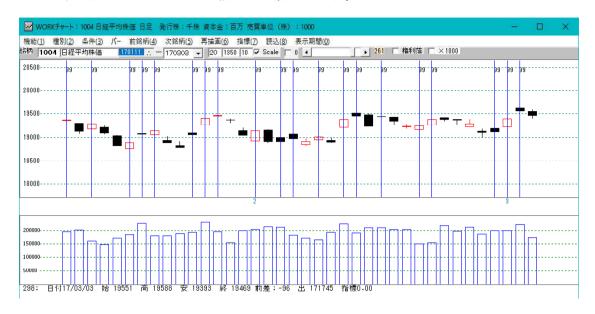
周期 短に「1」・・・移動平均線の周期が「1」という事なので、「終値」と同じ意味 となります。

昇降 短に「1」・・・通常は「上向き」という意味です。上向きという考え方は、 前日に比べ、当日が大きいという事なので、結局こうなります。 「前日終値く当日終値」・・・前日比プラス

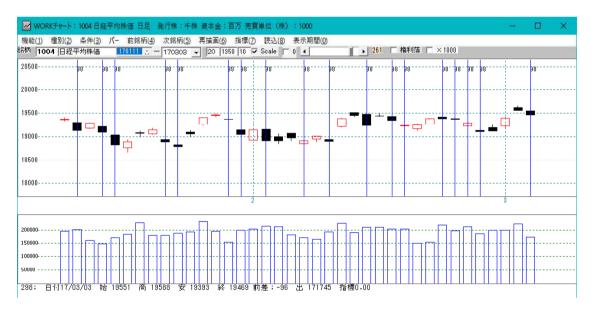
> 「3」・・・の場合は、「前日終値>当日終値」となり前日比マイナスの意味 です。

「条件」-「WORKチェック」で調べてみましょう。

このように前日比プラスの日に縦バーが引かれます。

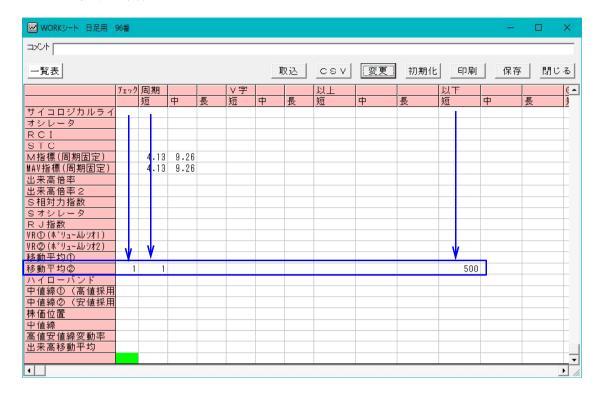


昇降 短に「3」の場合は前日比マイナスの日に縦バーが表示されます。



※陽線・陰線という設定は出来ません。 また前日比の比率も出来ません。例えば、前日比+5%などです。

■ 500 円以下の条件

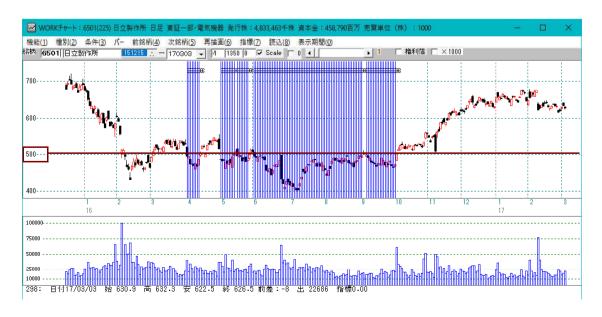


チェックに「1」・・・このテクニカル指標はチェックするという意味

周期 短に「1」・・・移動平均線の周期が「1」という事なので、「終値」と同じ意味 となります。

以下 短に「500」・・・500円以下となります。

チェックするとこのように500円以下の日に縦バーが引かれます。



「絞り込み検索」でスクリーニング条件の1つとして「17.WORK検索」を使っている方は、このように同時に株価と前日比についてもある程度調べる事が出来ます。

O X X 連騰を調べるには・・・

「絞り込み検索」の「91.前比足取り」をご利用下さい。

WORK分析シートでは、設定出来ません。 1日のみです。

下記の例は、「+」が5つなので、「5連騰」の条件となります。

| 91.前比足取り検索 | 222 | | × |
|--|------|------|----|
| 検索条件 検索種 | 別·日付 | | |
| 実行 中止 登録 挿入 閉じる | | | |
| 前日比プラスを[+]マイナスを[-]として過去の足取りを。 例えば+と入力したとすると 前日比が過去←+、-、-、-、-、-→直近という銘柄 | | | |
| + - 入力フィールド (+・・・前比ブラス、同値 -・・・前比 | マイナス | ス、同値 | 1) |
| | | | |
| | | | |
| | | | |